

平成 24 年度事業状況報告書

定款第 5 条第 1 項の (1) から (5) に掲げる平成 24 年度の事業計画実施概要の報告は下記の通りです。

記

1 号事業報告：

(1) 全国大会（第 51 回国際大会）の開催

平成 24 年 8 月 31 日(金)から 9 月 2 日(日)まで愛知県立大学長久手キャンパス（愛知県長久手市）において、「大学英語教育への言語理論の応用ーコンテンツとコンテクストを重視して」をテーマに第 51 回国際大会を開催した。参加者数約 700 人。基調講演 3 件，特別招待講演 2 件，海外からの招待者および海外提携学会代表による招待講演 7 件，国内招待講演 2 件，全体シンポジウム 1 件，特別ワークショップ 1 件，特別委員会報告 1 件が行われた。その他，研究発表，実践報告，事例研究，シンポジウム，ポスターセッション，ワークショップの分野で発表が行われた。

会員には，11 月に刊行した『JACET 通信 185 号』にて全体報告と，基調講演，全体シンポジウム等に関する報告を行い，学会 WEB にも掲載した。後援名義許可をいただいた愛知県公立大学法人，愛知県教育委員会，岐阜県教育委員会，名古屋市教育委員会，長久手市教育委員会に事業実績，決算報告を行った。

(2) サマーセミナーの開催

平成 24 年 8 月 19 日から 22 日に関東甲信越地区国立大学法人等共同利用施設草津セミナーハウスにおいて参加者約 50 名で JACET サマーセミナーを行った。“Advanced ESL and ESP Reading”のテーマのもと，メイン講師に Dr. William Grabe と Dr. Fredricka Stoller，また，国内から読解および ESP の研究を推進されている，野口ジュディー先生，田近裕子先生を迎え，公募による参加者の発表も行った。活発な論議が展開され，参加者からも好評であった。

(3) 春季セミナーの開催

平成 25 年 3 月 16 日に青山学院大学において、「意欲ある自律的学習者を育てる」をテーマに春季セミナーが行われた。小学，中学，高校，大学等の英語教員，および英語教育関係者約 60 名が集まり，講演，質疑応答，討議を通じて，知見を深め，実践に役だてることができた。渋谷和郎先生，稲垣善律先生を講師に迎え，動機づけ・学習者自立に関する研究の講義と，意欲ある自律的学習者を育てるためのワークショップを行った。

(4) 支部大会の開催

以下のように各地で支部大会を開催した。支部大会で披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動に大きな道標となった。また，研究大会については，各支部ニューズレターで報告された。

- ・ 北海道支部大会 平成 24 年 7 月 14 日
- ・ 東北支部大会 平成 24 年 7 月 7 日

- ・ 関東支部大会 平成 24 年 6 月 10 日
- ・ 関西支部大会 春季 平成 24 年 6 月 16 日
秋季 平成 24 年 11 月 24 日
- ・ 中国・四国支部大会 平成 24 年 6 月 9 日
- ・ 九州・沖縄大会 平成 24 年 7 月 7 日～ 8 日

(5) 支部講演会の開催

以下のように、各支部において講演会が開催された。講演会で披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・ 関東支部講演会 平成 24 年 4 月 14 日, 平成 24 年 9 月 8 日
平成 25 年 1 月 12 日
- ・ 中部支部講演会 平成 24 年 6 月 2 日, 平成 24 年 10 月 6 日
- ・ 関西支部 1~3 回講演会 平成 24 年 7 月 28 日, 平成 24 年 10 月 6 日,
平成 25 年 3 月 9 日
- ・ 九州・沖縄支部学術講演会 春期 平成 24 年 7 月 7 日
秋期 平成 24 年 11 月 10 日

(6) 支部研究会等の開催

以下のように各支部において研究会が開催され、これらの研究会で披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・ 北海道支部研究会 第 1 回：平成 24 年 5 月 26 日
第 2 回：平成 24 年 12 月 8 日
第 3 回：平成 24 年 2 月 23 日
- ・ 東北支部例会 平成 24 年 12 月 1 日
- ・ 関東支部月例研究会 第 1 回：平成 24 年 5 月 12 日
第 2 回：平成 24 年 7 月 7 日
第 3 回：平成 25 年 12 月 1 日,
- ・ 中部支部 12 月定例研究会：平成 24 年 12 月 22 日
2 月定例研究会：平成 25 年 2 月 23 日
- ・ 関西支部 関西英語教育学会と共催の第 16 回 卒論・修論研究発表セミナーに
て広報を担当：平成 24 年 2 月 9 日
- ・ 中国・四国支部研究会 平成 24 年 10 月 27 日
- ・ 中国・四国地区大学間連携イベント大学生 Oral Presentation & Performance (OPP)研究会
平成 24 年 12 月 15 日

2号事業報告：

(1) 『紀要』の刊行

- ① 平成 24 年 10 月 30 日に『JACET Journal』55 号を刊行。掲載論文 9 件。

② 平成 25 年 3 月 31 日に『JACET Journal』56 号を刊行。掲載論文 6 件。

会員より応募された論文，リサーチ・ノート，及びブックレビューの 3 つの分野における論文を厳正に審査し，掲載，非掲載を決定した。それぞれ会員及び英語教育関係者，及び国立国会図書館，国立情報学研究所へ送付した。海外提携学会等へも送付し，日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

(2) 『JACET 通信』の刊行

① 平成 24 年 7 月 1 日に『JACET 通信』184 号（日本語，印刷版および Web 版）を刊行。

② 平成 24 年 11 月 1 日に『JACET 通信』185 号（日本語，印刷版および Web 版）を刊行。

③ 平成 24 年 11 月 1 日に『JACET 通信』186 号（日本語，印刷版）を刊行。

④ 平成 24 年 12 月 1 日に『JACET 通信』187 号（英語，Web 版）を刊行。

以上，合計 4 回の通信の刊行を行い，大学英語教育関連の情報発信に寄与した。学会の最近の動向や優秀な大学英語教育を紹介することにより，会員の大学英語教員としての意識を向上させることができた。また，国内の他学会からの寄稿により，学際的な教育や研究の動向を知ることができた。特に『JACET 通信』186 号は創立 50 周年記念特集号として関係各位・諸団体からのメッセージを紹介し，創立 50 周年記念事業についての総括をおこなった。

(3) 『会員名簿』の刊行

社団法人大学英語教育学会（JACET）会員に名簿会員情報の提供，定款等規則の開示を目的として平成 24 年 12 月 1 日に発行した。

(4) 『JACET50 周年記念誌』の刊行

JACET の創立 50 周年を記念し，平成 24 年 6 月 1 日に『JACET50 周年記念誌』を発行した。各委員会と各支部のこの 10 年間の詳細な活動記録，JACET50 周年に際しての名誉会長，会長，元会長，前会長の文章，元支部長と元理事のエッセイ，海外名誉会員と友好団体からのメッセージ，50 周年記念国際大会における小池生夫元会長の講演の採録，森住前会長企画シンポジウムの採録，50 年にわたる本部人事および支部人事，JACET 賞受賞者一覧，全国大会やセミナーのテーマ，年表などの諸記録の記載をした。

(5) 支部紀要の発行

各支部で紀要を発行し，会員及び英語教育関係者等へ送付した。支部紀要は，支部会員の学術研究を奨励し，論文発表の機会を与えた。また，日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

- 『北海道支部紀要 創刊 10 周年記念号』 平成 25 年 2 月 22 日
- 『関東支部学会誌』9 号 平成 25 年 3 月 31 日
- 『中部支部紀要』10 号 平成 24 年 12 月 30 日
- 『JACET 関西支部紀要』15 号 平成 25 年 3 月 31 日
- 『大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要』10 号 平成 25 年 3 月 31 日
- 『Annual Review of English Learning and Teaching』17 号 平成 24 年 11 月 30 日

(6) 支部ニューズレターの発行

各支部でニューズレターを発行し，支部活動動向や，支部会員への英語教育に関する情報提

供と情報交換を行った。

- 北海道ニューズレター26号 平成 25 年 3 月 31 日
- JACET 東北支部通信 39 号 平成 25 年 3 月 29 日
- JACET Chubu Newsletter No.28 平成 24 年 5 月 10 日
- JACET Chubu Newsletter No.29 平成 24 年 12 月 20 日
- 関西支部ニューズレター60号 平成 24 年 4 月 1 日
- 関西支部ニューズレター61号 平成 24 年 5 月 26 日
- 関西支部ニューズレター62号 平成 24 年 8 月 4 日
- 関西支部ニューズレター63号 平成 24 年 10 月 27 日
- 中国・四国支部ニューズレター 9 号 平成 24 年 7 月 10 日
- 中国・四国支部ニューズレター 10 号 平成 25 年 1 月 31 日
- 九州・沖縄支部ニューズレター 28 号 平成 24 年 4 月 15 日

3号事業報告：

(1) 関係学術団体への派遣

① RELC (Regional Language Centre)

平成 24 年 4 月 16 日から 18 日にシンガポール共和国で開催された第 47 回 RELC 国際セミナーに本学会より学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行なった。大会参加の成果は学会 WEB に掲載。

② KATE (The Korea Association of Teachers of English)

平成 24 年 7 月 6 日から 2 日に Sookmyung Women's University で開催された KATE 2012 International Conference に本学会より学会副会長山内ひさ子氏を派遣して、研究発表を行ない、学術交流及び情報交換を行なった。その成果は学会 WEB に掲載。

③ ALAK (The Applied Linguistics Association of Korea)

平成 24 年 10 月 13 日に Hankuk University of Foreign Studies において開催された ALAK 2012 International conference において本学会より学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行い、学術交流を実施した。その成果は学会 WEB に掲載。

④ ETA-ROC

平成 24 年 11 月 9 日から 11 日に台湾の台北市で開催された The 21th International Symposium and Book Fair on English Teaching には会員 1 名が JACET を代表して出席し研究発表を行い、学術交流を促進した。その成果は学会 WEB に掲載。

⑤ MELTA (Malaysian English Language Teaching Association)

平成 24 年 6 月 7 日から 8 日にマレーシアで開催された第 21 回 MELTA 国際大会に本学会の代表者 1 名を派遣し、研究発表を行い、学術交流を実施した。その成果は学会 WEB に掲載。

⑥ PKETA (Pan-Korea English Teachers Association)

平成 24 年 10 月 20 日に大韓民国の Pukyong National University で開催された PKETA 大会に本学会代表者 2 名を派遣し、研究発表を行い、教育・学術交流を深めた。成果は学会 WEB に掲載。

⑦ Thai TESOL(Thailand TESOL)

平成 25 年 1 月 25 日から 26 日にかけて、タイ王国の Khon Kaen で開催された Thai TESOL に本学会より代表者 1 名を派遣した。研究発表を行い、学術交流および情報交換を活発にして研究活動を促進するよう努めた。成果は学会 WEB に掲載。

(2) 提携学会からの代表者受け入れ

第 51 回国際大会および支部大会において提携学会からの代表者を受け入れ、招待講演に係る手配やアテンドを行い友好的な関係を促進した。

(3) 提携学会派遣代表者とビジネスミーティング

大学英語教育学会の提携学会からの代表者を 51 回国際大会時の 9 月 1 日に情報交換と今後の今日協力体制について話し合った。結果は運営委員会にて報告した。

(4) 大学英語教育学会賞の表彰

51 回国際大会時の平成 24 年 9 月 2 日、英語教育における研究または実践上の顕著な業績を通してわが国における大学英語教育の改善と進歩・発展に寄与した本学会員である個人または団体に対して表彰を行なった。受賞者に対しては賞状とともに記念品を贈呈した。

平成 24 年度

学術賞 内田聖二著 『語用論の射程』研究社、2011.

実践賞 該当なし

新人賞 近藤悠介氏 音読自動判定とフィードバックシステム構築

4 号事業報告：

(1) 第三次 ICT 調査研究

① 平成 24 年 9 月 1 日 51 回国際大会において JACET-ICT 調査研究特別委員会特別企画としてシンポジウムを開催した。全国で行われている ICT を活用した語学授業実践の最前線について発表し、情報を交換した。

② 平成 24 年 12 月 21 日早稲田大学において「次世代 e-Learning Forum」を開催し、ICT を利用した語学教育についての講演会を青山学院大学ヒューマン・イノベーション研究センターやデジタルキャンパスコンソーシアム会員と共同で行うことで、ICT 調査研究特別委員会の活動を広げた。

③ 平成 25 年 3 月 31 日、活動報告書を出版した。ICT 利用の発展や、各大学での取り組みがわかり、今後 ICT を語学授業に取り入れる者にとっての良い指針となった。

(2) EBP 調査研究

平成 24(2012)年 4 月 1 日 ~平成 26(2014)年 3 月 31 日の 2 年間、(EBP = English for Business Purposes)委員会において、企業の国際部門責任者が社員に期待する英語コミュニケーション能

力関する調査（産学連携プロジェクト）（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会と JACET- ESP 研究会との共同研究）を行うこととなった。その 1 年目として、JACET と IIBC の合同研究会議を 5 回、研究打ち合わせを 2 回、JACET のインターネット研究会議を 6 回、ESP 研究会全国会議を開催した。平成 24 年 7 月 14 日 JACET 北海道支部第 26 回支部大会シンポジウム『産業界が求める英語力』をテーマに発表を行った。

(3) 専門分野別の研究会活動

現在 41 研究会があり、各研究会はそれぞれの分野の調査研究を基盤として、会員の資質向上、書籍出版、教材開発、紀要等での論文発表などの活動を定期的に行なった。研究会担当委員会はそれらの各研究会の活動を支援した。その結果、本活動が会員・非会員相互の専門知識と技術の向上及び大学英語教育の発展にも寄与することができた。

5号事業報告：

(1) 一般社団法人への移行認可申請

平成 24 年 6 月から平成 25 年 3 月にかけて一般社団法人への移行認可申請準備を行い、10 月 9 日に最終申請書類を提出した結果、無事に移行が認められた。平成 25 年 3 月 21 日に認可証が交付され平成 25 年 4 月 1 日より一般社団法人へ移行することが確定した。

(2) 諸会議の開催

- ① 平成 24 年 6 月 17 日 平成 24 年度第 1 回定例理事会
- ② 平成 24 年 6 月 17 日 平成 24 年度第 1 回社員総会
- ③ 平成 24 年 8 月 30 日 平成 24 年度第 1 回臨時理事会
- ④ 平成 24 年 9 月 2 日 平成 24 年度第 1 回会員総会
- ⑤ 平成 24 年 12 月 16 日 平成 24 年度第 2 回臨時理事会
- ⑥ 平成 24 年 3 月 23 日 平成 24 年度第 2 回定例理事会
- ⑦ 平成 24 年 3 月 23 日 平成 24 年度第 2 回社員総会
- ⑧ 定例運営会議の開催。6 月、8 月、9 月と 2 月を除く毎月 1 回開催。

年間で合計 8 回開催した。

(3) 定例委員会

定例の運営委員会、支部委員会、支部総会、支部役員会を適宜行った。

以上